

問3：絶対優位について

- **質問内容**：車の洗淨と芝生の刈り取りのそれぞれについて、どちらが絶対優位を持っているか？
 - **絶対優位とは**：同じ時間（または資源）で、より多くの生産物やサービスを生み出せる能力のことです。
 - **分析**：
 - **車の洗淨（洗車）**：1時間でマテオは2台、ソフィアは3台洗えます。3台 > 2台なので、ソフィアが洗車において絶対優位を持っています。
 - **芝生の刈り取り（芝刈り）**：1時間でマテオは1区画、ソフィアも1区画刈れます。1区画 = 1区画なので、**どちらも芝刈りにおいて絶対優位を持っていません**（生産性が同じ）。
 - **結論**：洗車についてはソフィアが、芝刈りについてはどちらも絶対優位を持たない。
 - **正解の選択肢**：d. ソフィアが洗車、芝刈りはどちらもなし
-

問4：比較優位について

- **質問内容**：洗車と芝生の刈り取りのそれぞれについて、どちらが比較優位を持っているか？
- **比較優位とは**：ある生産物やサービスを、他者よりも低い機会費用で生産できる能力のことです。機会費用とは、何かを得るために諦めなければならない他の最善の選択肢の価値です。
- **機会費用の計算**：
 - **マテオ**：
 - 車を1台洗う機会費用：車2台洗う間に芝1区画刈れるので、1台あたり (1区画の芝刈り) / (2台の洗車) = **0.5区画の芝刈り**。
 - 芝を1区画刈る機会費用：芝1区画刈る間に車2台洗えるので、1区画あたり (2台の洗車) / (1区画の芝刈り) = **2台の洗車**。
 - **ソフィア**：
 - 車を1台洗う機会費用：車3台洗う間に芝1区画刈れるので、1台あたり (1区画の芝刈り) / (3台の洗車) = **約0.33区画の芝刈り**。
 - 芝を1区画刈る機会費用：芝1区画刈る間に車3台洗えるので、1区画あたり (3台の洗車) / (1区画の芝刈り) = **3台の洗車**。
- **比較**：

- **洗車**： 機会費用はマテオ(0.5区画) > ソフィア(0.33区画)。ソフィアの方が機会費用が低いので、ソフィアが洗車において比較優位を持っています。
 - **芝刈り**： 機会費用はマテオ(2台) < ソフィア(3台)。マテオの方が機会費用が低いので、マテオが芝刈りにおいて比較優位を持っています。
 - **結論**： 洗車についてはソフィアが、芝刈りについてはマテオが比較優位を持つ。
 - **正解の選択肢**： (選択肢bが「ソフィアが洗車、マテオが芝刈り」であると仮定すると) **b** が正解となります。(選択肢aは「マテオが洗車、ソフィアが芝刈り」であり、これは誤りです。)
-

問5：比較優位に基づく特化と交易

- **質問内容**： マテオとソフィアが効率的にサービスを供給し、比較優位に基づいて互いに便益のある交易を行う場合、どのような行動をとるか？
- **比較優位の原理**： 比較優位を持つ活動に特化（集中）し、互いに交易（交換）することで、双方にとってより多くの利益（便益）が得られます。
- **適用**：
 - 問4の結果より、ソフィアは洗車に比較優位があり、マテオは芝刈りに比較優位があります。
 - したがって、効率的な分業のためには、ソフィアはより多く洗車を行い、マテオはより多く芝刈りを行うべきです。
- **選択肢の検討**：
 - a. マテオがより多く芝生を刈り、ソフィアがより多く車を洗う。 -> 正しい。それぞれが比較優位を持つ活動に特化している。
 - b. マテオがより多く車を洗い、ソフィアがより多く芝生を刈る。 -> 誤り。比較優位とは逆の特化。
 - c. マテオとソフィアの両者がより多く車を洗う。 -> 誤り。特化していない。
 - d. マテオとソフィアの両者がより多く芝生を刈る。 -> 誤り。特化していない。
- **結論**： 比較優位に基づくと、マテオは芝刈りに、ソフィアは洗車により多く時間を割くべきである。
- **正解の選択肢**： a. マテオがより多く芝生を刈り、ソフィアがより多く車を洗う。